

第2回世界閉鎖性海域環境保全会議の概要

エメックス 93/1993年11月10～13日/アメリカ・ボルチモア市

「エメックス 90」の成果を米国メリーランド州に継承、アメリカの代表的な閉鎖性海域であるチェサピーク湾に臨むボルチモア市で、第2回目の国際会議「エメックス 93」が開催されました。

テーマに「効果的な沿岸海域の Governance(共同管理)に向けて～科学、政策及び管理により沿岸域の環境を持続する」を掲げたこの会議には、46ヶ国・地域から延べ2,300人が参加。

日本からは、研究発表者を含む研究者、行政官、産業界から約100人が参加しました。

会議では、Governance と政策、沿岸域の科学と政策ならびに市民や民間団体の参加などについて、11セッション367人発表があり、多彩な議論が交わされました。その成果は「エメックス 93 宣言」として採択されました。

この宣言の中で、研究や情報交流の中核をなす国際的組織を日本国兵庫県神戸市に設置することを歓迎するとアピールされました。



「エメックス 93 宣言」より

我々は、エメックスは以下の原則にささげられるものであると強く信ずる。

- 沿岸域の現象に関する研究やデモリングの発展を含む科学情報の国際的な交換を促進すること
- 健全な政策遂行にとって必要不可欠な住民側の動機づけや利害についての理解が政策立案者や研究者の間で深まることを助長すること
- ますます重要になりつつある科学と政策との交錯領域でのコミュニケーションや協力を向上させること
- 景観が美しく、文化的、歴史的意味合いももった場所として重要な沿岸域を保護するという共通の意思をさらに強化すること
- 沿岸域の諸問題を解決するのに有益な技術を交換する場を提供すること
- 人為的なものとしての管轄域を越えた生態系を統括していく新しい手法を追求すること